



東北防衛局広報紙
 (東北6県の防衛に関する情報誌)

東北のかなめ

vol. 24
 2013.10.11



塔のへつり (福島県下郷町)

特集・沖縄県道 104 号線越え実弾射撃移転訓練

- ・ 防衛白書の説明
- ・ 防衛セミナー開催
- ・ 日米合同による図上訓練
- ・ 人事異動
- ・ 優秀工事に顕彰状を授与
- ・ インフォメーション

がんばろう!東北



防衛省東北防衛局広報委員会編集発行



緊急患者輸送訓練

8.31



8.26



現地連絡本部開所



海兵隊員による花壇の除草

大和町の支援施設「あさいな」では、訪れた海兵隊員が、道路の砂利敷き、花壇の除草、窓ふき等を行い、その後入居者と一緒に借り物競走などのゲームを楽しんだり、歌をプレゼントして、交流を深めました。
支援施設「あさいな」の園長は、「海兵隊の奉仕活動に深く感謝する。国際的な親睦が深まる機会になれば。」と話していました。

奉仕活動



小野寺防衛大臣に説明する野中現地連絡本部長

平成25年9月13日、小野寺防衛大臣による東北防衛局現地連絡本部の視察が行われ、野中文勝現地連絡本部長が、本移転訓練に係る関係自治体等への情報提供、安全対策及び海兵隊への支援業務等について説明を行い、本移転訓練に係る東北防衛局の活動について見識を深めていただきました。

小野寺防衛大臣が 現地連絡本部を初視察

特集

～王城寺原演習場～ 今回で11回目



沖縄県道104号線越え実弾射撃移転訓練

Ministry of Defense / Tohoku Defense Bureau

職員が24時間体制で勤務

平 成25年9月4日から7日までの間、陸上自衛隊王城寺原演習場（宮城県加美郡色麻町、黒川郡大和町及び大衡村）において、在沖米海兵隊による155ミリりゅう弾砲等の実弾射撃移転訓練が実施されました。今回の同訓練には、第3海兵師団第12海兵連隊第3大隊の砲兵中隊の隊員が参加し、砲6門が用いられました。

東 北防衛局は、米海兵隊が到着した8月26日から帰沖した9月16日までの間、演習場内に24時間体制の現地連絡本部を設置し、訓練の安全かつ円滑な実施のための支援や地元自治体等へ迅速な情報提供等を行いました。

訓 練終了後の9月10日及び11日の二日間、海兵隊は、地域への貢献や交流活動の一環として、地元2町村の施設を訪問し、奉仕活動や交流会を行うなどして交流を深めました。

海 兵隊が在演中の9月13日、小野寺防衛大臣による東北防衛局現地連絡本部の視察が行われました。



9.3

訓練公開



8.29



車両輸送

地方協力確保事務

東北防衛局は、防衛政策等に対する国民のより幅広い層への理解増進を図るため、地方協力確保事務として、防衛白書の説明、防衛セミナー、日米交流事業などを行っています。



三村青森県知事への防衛白書説明状況

男鹿市で防衛セミナー

平成25年8月2日、東北防衛局は、昨今の北朝鮮の動向等を踏まえ、「北朝鮮情勢と我が国の防衛政策」をテーマとした防衛セミナーを、リーダーサイトが所在する秋田県男鹿市において開催しました。

本セミナーでは、冒頭、主催者である中村吉利東北防衛局長からの挨拶の後、開催地を代表して渡部幸男男鹿市長からの挨拶があり、引き続き、防衛研究所北東アジア研究室の阿久津博康主任研究官が最近の北朝鮮情勢・韓国情勢や日本の対応などについて、また、航空自衛隊第33警戒隊副隊長の後藤仁

3等空佐が航空自衛隊の主な活動や航空自衛隊加茂分屯基地の役割などについて、スライドを使用して分かり易く説明しました。

会場となった「男鹿市民文化会館」には、約120名が聴講に訪れ、各講師からの熱心な説明に聞き入っていました。聴講者からは、「朝鮮半島の情勢を理解できて良かった。」「リーダー基地の仕事が良く理解できた。」「平和が守られているのは、自衛隊の活躍があるからだということを感じた。」などの感想が寄せられました。



後藤第33警戒隊副隊長



阿久津主任研究官



会場の様子

防衛白書の説明

平成25年版 日本の防衛

防衛白書は、わが国の防衛政策に対する内外の理解を得るために、昭和45年に第1回目、昭和51年に第2回目を刊行以降、毎年刊行しているもので、今年で39回目になります。

東北防衛局では、今年7月に刊行した平成25年版防衛白書について、自衛隊地方協力本部等の協力を得ながら、東北6県の各県知事を始め、東北各県の地方公共団体等に対して説明を行っています。

平成25年版防衛白書

平成25年版防衛白書は、第一部「わが国を取り巻く安全保障環境」、第二部「わが国の防衛政策と日米安保体制」及び第三部「わが国の防衛に関する施策」の3部構成となっています。

今回の白書は、一層厳しさを増すわが国周辺の安全保障環境や、それに対して、国民の生命・財産とわが国の領土・領海・領空を断固として守り抜くため防衛省・自衛隊が行っている広範多岐に渡る取組について、より多くの方々に分かり易くお伝えできるようにコラムや図表を充実させながら作成したものとなっています。

詳しくは、防衛省のホームページ(<http://www.mod.go.jp/>)に掲載されておりますのでご覧ください。



予告 防衛セミナーを 八戸市で開催

東北防衛局では、防衛省・自衛隊の活動について、より一層の理解と協力が得られるよう、防衛セミナーを開催しています。

平成25年11月27日(水)、青森県八戸市のユートリー(八戸地域産業振興センター)において、国際平和協力本部事務局長及び南スーダン第3次派遣施設隊長(現陸上自衛隊中央即応集団司令部民生協力課長)を講師にお招きし、「国連平和維持活動(PKO)〜国際平和のために〜」をテーマとした講演を実施します。是非、ご来場下さい。入場無料。

お問い合わせ先 企画部地方調整課 022(297)8212

防衛セミナー

国連平和維持活動(PKO)
～国際平和のために～

講師：内閣府国際平和協力本部(PKO)事務局長 高橋 礼一郎
南スーダン第3次派遣施設隊長 2等陸佐 持田 将貴
(前第9施設大隊長 現陸上自衛隊中央即応集団司令部民生協力課長)

■開催日：平成25年11月27日(水)
18:30~20:30(開場18:00)

■場所：ユートリー 大ホールA
(八戸地域産業振興センター)
※八戸駅東口のすぐ隣り

入場無料

アクセス：①八戸駅東口から徒歩1分
②八戸ICから車で7分
(駐車場は有料となります)

※事前の申し込みは必要ありませんが、定員になり次第締め切りとさせていただきます。ご了承ください。

主催：東北防衛局
共催：自衛隊青森地方協力本部
後援：青森県、八戸市、青森県防衛協会、八戸商工会議所

お問い合わせ先：防衛省東北防衛局 企画部 地方調整課
宮城県仙台市宮城野区五輪1-3-15
TEL 022-297-8212

総務部長 見村 均 みむら ひとし



人事異動

8月1日付で総務部長を拝命した見村です。
東北地方の勤務は2回目となります。震災後の復興に各方面の方々が力を注いでいる中で、当局の業務が円滑に果たせるよう自らの役割をしっかりと努めていきたいと思ひます。
「がんばろう！東北」、そして「がんばろう！東北防衛局」
よろしくお願いいたします。



優秀工事に顕彰状を授与



7月10日、平成24年度に完成した工事及び完了した業務のうち、特に優秀であった4社に顕彰状の授与を行いました。

この顕彰は、入札参加者の受注意欲を高め、品質確保などを図る目的で、他の模範となる優秀工事等を選定するもので、対象案件である工事20社、業務2件の中から、海上自衛隊大湊地方総監部の受電所新設工事を実施した「東北建設(株)」及び「(株)ユアテック」、周波数変換所新設等工事を実施した「東芝プラントシステム(株)東北支社」、また、航空自衛隊松島基地の建物等復旧建築工事を実施した「青木あすなる建設(株)東北支店」に顕彰状が贈られました。

野中調達部長は、「いずれの工事も東日本大震災の影響で資材や労務者の確保が困難になる中において、事故等なく無事に工事を完成してもらって感謝しています。今年は、各省庁及び地方自治体発注の復興関連事業が集中しているため、防衛省工事の入札参加者の減少が危惧されるが、力を貸してほしい。」と挨拶しました。



東北防衛局調達部長顕彰状受賞者

- 顕彰状を授与された4企業**
前列左から
- ① 青木あすなる建設(株)東北支店
 - ② 東芝プラントシステム(株)東北支社
 - ③ 野中調達部長
 - ④ (株)ユアテック
 - ⑤ 東北建設(株)



「日米ガイドライン」とは、日本国内で、合衆国軍隊が使用する施設・区域の外において、航空機が墜落等した際に適用される方針及び手続きを定めたもので、事故現場に内周規制線と外周規制線を設け、内周規制線では日米共同により、外周規制線ではもっぱら日本側当局により現場管理・立ち入り規制を行うものです。

図上訓練に参加する米軍・日本側の関係者



会場の様子



真剣な眼差しで訓練に参加

日米合同による図上訓練

航空機事故に備える

六ヶ所村

平成25年8月23日、青森県六ヶ所村文化交流プラザにおいて、米軍航空機による墜落事故を想定した「日米ガイドライン」に基づく事故発生時の消火活動や人命救助などの初動体制を確認する図上訓練が行われました。
日本側からは警察、消防、八戸海上保安部、六ヶ所村及び三沢防衛事務所、米側からは米軍三沢基地所属部隊の関係者が参加しました。その中で、三沢防衛事務所は、米軍三沢基地への事実関係及び事故発生地所在自治体の照会と確認並びに青森県、関係市町村及び関係機関への情報提供などの役割を担いました。

今回の訓練は、スクリーンの進行に合わせて、図上でミニチュアを使い関係機関の動きを表示しながら、負傷した住民に対してケガの状況に応じて緊急度を識別するトリアージを実施、応急措置を施した後、各医療機関への搬送も図上で行われました。
実動訓練に向けた図上訓練は、平成24年2月の三沢市での開催に続き3回目、参加した関係者は真剣な表情で訓練に臨みました。
本図上訓練を踏まえ、日米の関係機関で、平成26年度に六ヶ所村において実動訓練を実施する予定です。

- INFORMATION -**三沢基地航空祭**

～広げよう！信頼の絆～



平成25年9月15日、青森県三沢市に所在する航空自衛隊三沢基地において、三沢基地航空祭が開催され約8万人が詰めかけました。

今年の航空祭のテーマは「広げよう！信頼の絆」と題して、三沢基地に所属する日米の各種航空機の展示飛行等が行われた。2年ぶりに参加したブルーインパルスの飛行展示は、悪天候のため中止されたものの、ブルーインパルスが、滑走路を行進すると来場者から盛んな拍手が送られていました。

**東北の自衛隊広報行事**

自衛隊（東北管内）が今後予定している広報行事等は次のとおりです。是非、見に来てください。

	開催日	イベント名	開催場所	問い合わせ先
10月	陸 10月19日(土)	岩沼ふれあいコンサート	岩沼市民会館	自衛隊宮城地方協力本部 022-295-2611
	陸 10月20日(日)	多賀城駐屯地創立59周年記念行事	多賀城駐屯地	多賀城駐屯地広報室 022-365-2121 (206)
11月	空 11月9日(土)	航空自衛隊北部航空音楽隊 コンサート	仙北市民会館	自衛隊秋田地方協力本部 018-823-5404
	陸 11月24日(日)	陸上自衛隊東北方面音楽隊 コンサート in 能代	能代市民文化会館	自衛隊秋田地方協力本部 018-823-5404
12月	空 12月5日(木)	三陸復興祈念 航空自衛隊北部航空音楽隊 おおふなと演奏会	大船渡公民館リアスホール	自衛隊岩手地方協力本部 019-623-3236

※事前の申し込み、入場整理券等が必要なイベントもありますので、お出かけの前に問い合わせ先にご確認ください。

編集後記

東北防衛局では、今年5月1日から、広報紙を編集していた従来の「広報編集委員会」を「広報委員会」に組織改編し、広報委員会の下に作業部会を新たに設け、組織全体で緊密な情報共有及び連携強化を図るなど、これまで以上に分かりやすい広報をお届けします。

ご意見・ご感想などありましたら、是非お聞かせ下さい。

表紙の写真は、福島県南会津郡下郷町に所在する「塔のへつり」です。「へつり」とは会津方言で川に迫った険しい断崖のことで、とても長い歳月をかけて、浸食と風化を繰り返し、河食地形の奇形を呈する好例として国の天然記念物に指定されています。

防衛省 東北防衛局

宮城県仙台市宮城野区五輪1丁目3-15

Tel 022-297-8208

ホームページ <http://www.mod.go.jp/rdb/tohoku/>